

赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

令和6年度 皆さまからのご寄付で実施した主な活動と支出状況

○災害救護活動の実施

令和6年元日に発生した能登半島地震災害及び同年9月に発生した能登半島大雨災害の被災地支援のため、発災直後から医療救護班を派遣するなど災害救護活動を実施しました。

○災害救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、救護機材及び救援物資を整備しました。

【ポータブル蓄電池】2台 【救護員作業衣】115着 【タオルケット】1,000枚

○赤十字講習会等の実施

いのちと健康を守る知識や技術に役立つ講習会を各地で開催し、多くの皆さまが受講されました。

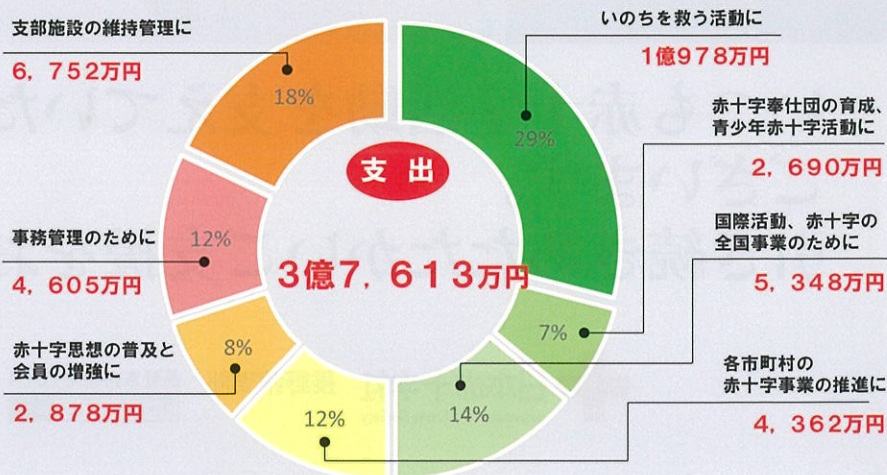
【救急法等の講習】702回・16,006人 【防災セミナー】62回・2,427人

※ 各詳細は「令和6年度事業報告」に掲載しています。



令和6年度 支出報告

※災害義援金預り金等は除いています。



昨年、南海トラフ地震臨時情報が発表されましたが、長野県内では、糸魚川静岡構造線断層による大規模な地震も想定されています。

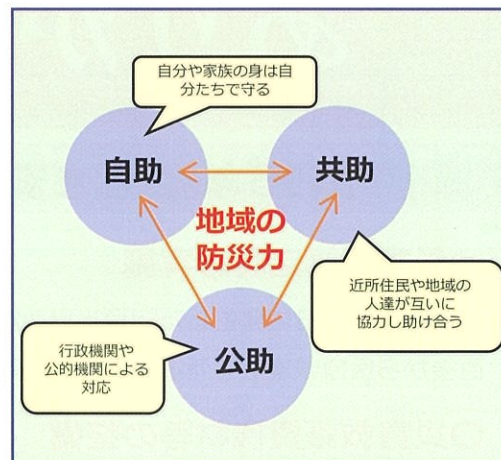
過去の災害の経験から、災害が大規模になるほど、公的機関による支援である「公助」が行き届きにくくなるため、日々の暮らしの中で個人や家族が備えておく「自助」と、地域みんなで助け合う「共助」の力を向上させることが、いのちを守るために重要だということが分かっています。



(避難所体験ゲーム)



(炊き出し研修)



「自助」と「共助」の力を高めるために各地域で「赤十字防災セミナー」を開催しています。参加された方からは「学んだことを家族や地域で共有したい」などのお声をいただき、防災・減災の輪が広がっています。

申込み方法は、当支部ホームページをご覧ください。

セミナー名	時間	内容
ぼうさい まちがいさがし きけんはっけん！	30分から	災害時の危険（場所・行動）について伝え、自分の身を守るための基本的な知識や判断力を育みます。
まもるいのち ひろめるぼうさい	50分から	いのちの大切さを学び、「気づき・考え・実行する」を重視したコミュニケーション力、想像力などを養うグループワークプログラムです。
避難所体験ゲーム	90分から	避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、トイレ問題、ペットの対応などを机上模擬体験します

いつも赤十字活動を支えていただきありがとうございます。
引き続きあたたかいご支援をお願いいたします。

